

どう活かす

93億5000万円の 使いみち

重点事業

- 廃食油回収事業
- 防災情報メール配信サービス
- 小川消防団消防ポンプ車両更新事業
- 高齢者熱中症対策事業
- 防災訓練・防災備品の充実
- 高齢者肺炎球菌ワクチン補助事業
- 都市公園健康遊具整備事業
- 防火水槽新設事業
- 橋りょう長寿命化計画策定事業
- 栃木親水公園自然エネルギー活用・啓発施設整備事業

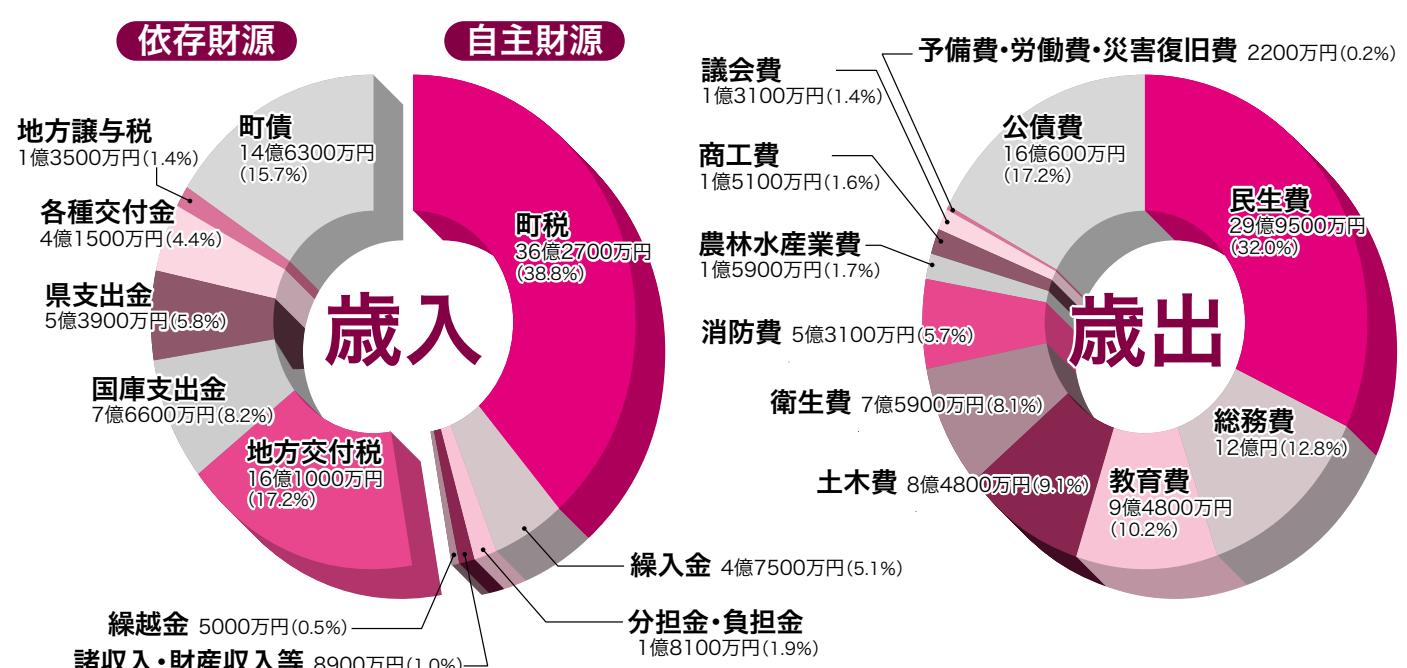
平成 24 年度 当初予算

- 一般会計 93 億 5000 万円
 - 特別会計 67 億 602 万円
- (国保・後期・介護・下水・農集)



西中学校 校舎

一般会計 当初予算 歳入・歳出の内訳



すたむちゃんのひと口メモ

民生費とは…障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所などに使う費用。
公債費とは…町が借り入れたお金(町債)を返済するための費用。



西中学校建てかえが始まる

平成 24 年度予算スタート

平成 27 年度までにすべての学校施設の耐震化を終了する予定で耐震化事業が進められてきましたが、西中学校は、調査の結果、老朽化が激しいことや校舎の構造上の問題、補修箇所がさらに増大していくことなど多くの問題を抱えていました。今回、国の緊急防災・減災事業を活用し、平成 24 年度、25 年度の 2 年間で校舎棟・体育館の建てかえ工事を行なう計画です。平成 23 年度補正予算（新年度予算に持ち越し）で、設計費用が計上され、可決しました。

議論伯仲！

問 財政が厳しい状況であるため、西中を売却し、櫻台中への統合を考えてもいいのではないか。

答 財政は厳しいですが、そのような議論は出ていません。

問 将来櫻台中がすべて単学級になってしまふが、クラブ活動その他、問題が出るのではないか。

答 単級になつたらすぐに統合という発想は、教育になじまないと考えます。単級でも各事業を工夫して行なつていきます。統合は考えていないのか。現在統合は考えていませんが、将来、地域や保護者などから要望が出てくれば考えていくべき。

問 建てかえ工事中に使用するます。

答 假設プレハブ校舎 4800 万円は、現在の財政状況下では非常に無駄だと思う。櫻台中の空き教室の使用を考えたらどうか。

問 2つの学校を櫻台中の校舎 1 つで運営していくことは難しいので、假設プレハブ校舎で対応します。

問 大地震が再び起きることが現実味をおびてきた。親の不安な思いなどを考えると、改築は避けられないのではないか。

答 理解をいただきながら、改築をする方向で進めていきたいと考えます。